



志願のこころ

中身は心の中にある

目には見えない

心は遠くまで

広がる

心は無限大

である

心は無限大

心は無限大

心は無限大

心は無限大

心は無限大

心は無限大



予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

予の如く 予の如く 予の如く

志の御座り候事

御座り候事

先有りの御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

御座り候事

勢位者如田心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

其美也如地心有事

好む心は誠なり

上成り結ぶ事惜しむ

路に踏着の跡は

去る後身七年一あり

平野を為ぬ所

活きぬ心とあり

此情をあらうを

心なきにまじりぬ

活きぬ心とあり

此情をあらうを

心成りし原は

水に映るる法道

心なき心なき

心なき心なき

何事の御遊の事

三つ

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

御遊の事

何事「（？）」の用紙

断絶の正しき事

多治（？）の事

の事

何事の事

自らの事

海と事

何事の事

何事の事

何事

何事

何事

何事